

ぎょぎょうきょうどう ぎょきょう しごと 漁業協同組合（漁協）の仕事

漁協は、都道府県の知事から漁業権免許を受けて活動をしています。

川や湖での漁業活動は“増殖漁業”と言い、魚を捕る権利を免許される代わりに、魚を増やす義務があります。

川は、海に比べて生産力（自然に魚が卵を産み増える力）が限られています。そのため、漁協では、人の手によって魚が捕り尽くされないよう、また、いつまでも魚が捕れるように、放流したり、産卵場（魚が卵を産む場所）を造ったり、魚を食べてしまうカワウや外来魚（ブラックバスなど）を駆除したり、釣り人に釣りの規則について指導しながら、川や湖の漁場を管理しています。



ウナギなどの生物の隠れ処を設置する様子
(大分県 大野川)



ふ化直前のアユの受精卵を放流する様子
(岡山県 高梁川漁協提供)



学生と協働して、魚が川を上るための
魚道を改修する様子
(富山県 富山漁協提供)

カワウってどんな鳥？



カワウは大型の水鳥で、水に潜って魚を獲ることが得意です。一羽が、1日に300g～500gの魚を食べてしまいます。

昔、数が減ったために保護したら、今では増え過ぎて全国に広がり、魚を食べ尽くす害鳥に指定されました。今、国の事業を活用して、漁協が中心となって駆除をしています。

水辺の高い木の上に巣を作り、糞で木が枯れてしまう森林被害も起きています。



卵を抱くカワウ：福岡県内水面漁連提供

がいらいぎょ たいじ 外来魚をなぜ退治するの？



外来魚と言っているのは、ブラックバス（オオクチバス、コクチバス）およびブルーギル、アメリカナマズなど、外国から日本に入ってきた魚のことです。

これらは、日本に昔から棲んでいた魚を食べ尽くしてしまいます。ブラックバスは、1匹が約3,000粒の卵を産み、その卵やふ化した稚魚（子ども）を、雄親が守って育てるので、急激に数が増えてしまいました。

駆除をしなければ、昔から棲んでいた日本の魚がどんどん減り、外来魚ばかりが増えてしまいます。



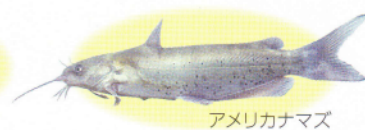
オオクチバス



コクチバス



ブルーギル



アメリカナマズ

おさかなクイズに挑戦！（答えは裏面をみてね）

1 問目

川や湖の巻き貝で、タニシを見分ける方法があります。次のどれでしょうか。

- ① 貝殻の巻き方
- ② 貝殻の色
- ③ 貝殻の大きさ



2 問目

カラスガイは淡水に棲む大型の二枚貝です。大きい物で何cmくらいまで成長するでしょうか。

- ① 約5cm
- ② 約100cm
- ③ 約30cm

